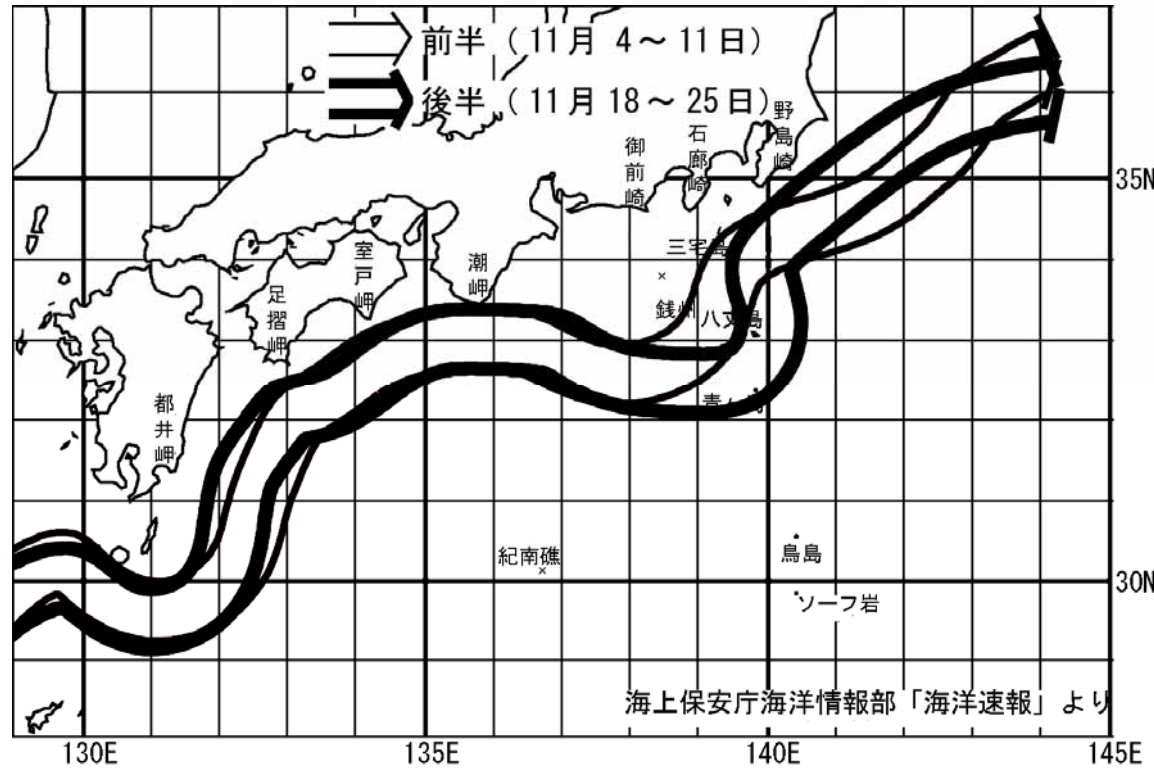


漁海況月報

平成 24 年 11 月 1 日

No. 11 ~ 11 月 30 日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 () (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	20.6	22.1	21.6	20.7	20.5	21.0	17.8
	0.6	1.5	1.4	-0.3	0.3	1.1	-1.3
中旬	19.4	20.5	20.0	19.2	19.0	19.5	17.2
	0.2	0.7	0.8	-1.2	-0.5	0.6	-0.9
下旬	18.3	19.5	18.4	17.5	17.7	17.9	16.0
	0.0	0.5	0.0	-1.7	-1.0	0.0	-1.1
月	19.4	20.7	20.0	19.2	19.1	19.5	17.0
	0.3	0.9	0.7	-1.0	-0.4	0.6	-1.1

【黒潮流路】

前半の黒潮は、室戸岬～潮岬で接岸した後、遠州灘沖で蛇行して 33°N 付近まで南下し、三宅島～八丈島の間を通過後房総半島沖へ流れた。後半は、遠州灘沖の蛇行が東進して伊豆諸島の西に達し、黒潮北縁は 33°N 以南まで南下した。その後、八丈島付近を通過後北上し三宅島付近から北東に向けて流れた。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、黒潮蛇行により、流路の影響を受けた相模湾側では平年並み～やや高め、冷水域の影響を受けた駿河湾東部では平年並み～低めであった。駿河湾西部は、焼津ではやや高め、地頭方ではやや低めとなった。

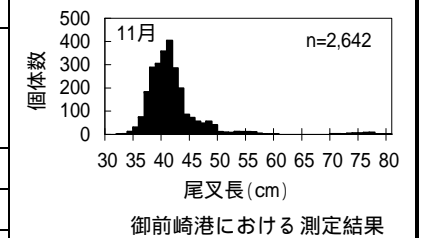
【竿釣近海カツオ】

県内主要 5 港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は 32 トンで前年の 25% であった。魚価は 344 円/kg で、前年同期を下回った。

静岡県沖では 23°～34°N、139°～142°E 付近の小笠原諸島から伊豆諸島周辺で極小（尾叉長 41cm モード）カツオを主体に漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量（近海・沿岸、県内主要 5 港）

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
24 年 11 月上旬	4	3	1.3	531
中旬	6	2	3.0	372
下旬	22	4	5.5	305
24 年 11 月計	32	9	3.6	344
23 年 11 月計	126	49	2.6	446
22 年 11 月計	30	18	1.7	357



【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網 7 か統（伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は 357 トンで、前年同期の同漁場の水揚量（883 トン）の 0.4 倍、平年値（昭和 57～平成 23 年）295 トンの 1.2 倍となった。

魚種別では、サバ類（サバッコを除く）125.4 トン アカカマス 54.6 トン マルソウダ 48.7 トン サンマ 29.5 トン モロ 17.2 トンの順に水揚げされた。

サバ類は尾叉長で 25～37 cm の大きさのゴマサバを主体に北川、富戸漁場を中心に前年の 0.3 倍、平年の 1.7 倍の量が、アカカマスは尾叉長で 25～35 cm の大きさのものが古網、伊豆山漁場を中心に前年の 20.5 倍、平年の 12.5 倍の量が、マルソウダは尾叉長で 25～30 cm の大きさのものが北川、古網漁場を中心に前年の 0.2 倍、平年の 1.2 倍の量が、それぞれ水揚げされた。

漁場別では、北川 118 トン（サバ類、マルソウダ、サバ類、サンマ主体）、川奈 57 トン（サバ類、モロ、マルソウダ主体）、古網 53 トン（アカカマス、サバ類、マルソウダ主体）の順に水揚げ量が多かった。

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
サバ類	125.4	0.3	1.7	北川、富戸、川奈
アカカマス	54.6	20.5	12.5	古網、伊豆山、北川
マルソウダ	48.7	0.2	1.2	北川、古網、川奈
サンマ	29.5	11.0	1.2	北川、谷津、川奈
モロ	17.2	0.1	2.6	北川、川奈、富戸

[サバたもすくい・棒受網]

小川港には、棒受網によってゴマサバ635トン(前年同月比81%)が水揚げされた。1隻あたり水揚量は35.2トン/隻(前年同月比135%)であった。平均単価は58円/kgで前月(56円)前年同月(53円)を上回った。

棒受網の漁場は、三本、三宅にゴマサバ主体で形成され、ゴマサバは25cmモードの0歳魚(2012年級群)主体であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
24年11月上旬	0	215	3	6	0	35.8	0	57	本 港
中旬	0	128	2	4	0	31.9	0	57	本 港
下旬	0	292	4	8	0	36.6	0	58	本 港
24年11月計	0	635	9	18	0	35.3	0	58	
23年11月	0	781	11	30	0	26.0	0	53	本 港
22年11月	0	796	11	28	0	28.4	0	37	本 港

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

11月は7日水揚げがあった。水揚量は118トンで、前年同月の153トンを下回った。漁場は主に戸田沖と三保～大井川沖に形成された。

漁獲されたサクラエビは、体長31mmにモードを持つ当歳エビと40mmにモードを持つ1歳エビで構成され、1歳エビと0歳エビが約半々であった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	1日1か統当り平均(kg)	漁 場
平成24年11月上旬	2	1	平均 35	戸田沖、三保～大井川沖
中旬	51	2	平均 428	戸田沖、三保～大井川沖
下旬	65	4	平均 269	戸田沖、三保～大井川沖
平成24年11月計	118	7	平均 281	-
平成23年11月計	153	5	平均 508	焼津～相良沖
平成22年11月計	78	4	平均 324	焼津～相良沖

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が387kg、遠州灘が541kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は481kgと前年同期(256kg)の188%、平年同期(過去5か年平均:174kg)の277%と前年同期、平年同期を大幅に上回った。また、総水揚量は739.8トンで前年同期(468.0トン)の158%、平年同期(269.3トン)の275%と、前年同期、平年同期ともに大幅に上回り、11月としては主要6港の統計を取り始めた昭和60年以来、最高値を記録した。平均単価は465円/kgと平年同期(825円/kg)を大幅に下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	65.7	10	128	514	354
舞 阪	251.9	10	451	558	396
福 田	126.9	9	242	524	436
御前崎	62.7	12	117	536	381
吉 田	130.7	14	322	406	452
静 岡	101.9	14	279	365	814
平成24年11月計	739.8	69	1,539	481	465
平成23年11月計	468.0	81	1,827	256	701
平成22年11月計	337.3	79	1,708	198	700

注) 平年同期: 過去5か年(2007~2011年)平均

[まき網]

小川港のマイワシの水揚げは24.7トンであった(平年同期14.2トン)。沼津港のマイワシの水揚げは165.6トンで、先月に引き続き100トンを超えたが(平年同期36.8トン)、カタクチイワシの水揚げはなかった(平年同期もなし)。静浦港のマイワシの水揚げはなく(平年同期0.13トン)、カタクチイワシの水揚げもなかった(平年同期の水揚げもなし)。伊東港のマイワシの水揚げは62.7トンで、今年度初めてまとまった水揚げがあった(平年同期80.1トン)。

注) 平年同期: 過去5か年(2007~2011年)平均

[調査船の動向]

駿 河 丸

11月8日	11月9日	地先定線観測	(2日間)
11月12日	~ 11月13日	タチウオ生態調査	(2日間)
11月19日	~ 11月20日	サバ標識放流調査	(2日間)
11月21日	~ 11月22日	シラスTBC調査	(2日間)
11月28日		シラス調査	(1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

